

Webページの場所

岡山大学病院ホームページ⇒当院について



岡山大学病院の感染対策について



海外からの受け入れ

海外からの受け入れ

外国人の見学者・研修生の受け入れを希望する場合は、事前に事務担当者へ申し出を行ったうえで、定められた期日までに必要な書類を提出してください。

海外からの受け入れフローチャート	PDF
海外からの受け入れに関する結核対策	PDF

★海外からの受け入れに関する事務手続きについては[こちら](#)（※職員専用ページヘジャンプ）

証明書の様式	
【国内】 見学・実習等受け入れ証明書	PDF
【海外】 実習用証明書 (Form1)	PDF
	Excel

英語版マニュアル (Manual)	
Instructions and directions for infection control in Okayama University Hospital	PDF
Flowchart for Infection Control	PDF

海外からの研修受け入れが決まったら？



不備があった場合は受け入れ
不可なので早めに確認すること

感染対策書類

- 4種ウイルス
- B型肝炎ワクチン
- 結核
- インフルエンザ

受入部署(責任者)

感染対策証明書に関して
受け入れ終了後3年が経過
するまで受け入れ部署で
原本を保管

感染対策上
不明なことを
相談する

研究科

感染制御部

病院

外国人客員研究員等
書類担当部署

研究推進課 総務担当
内線 7982

外国人短期・長期研修生、臨床
修練外国医師、外国人見学者等
書類担当部署
総務企画課
内線 7075

感染制御部のマニュアル最新版を確認のこと

- (1) 実習生・研修生等の受け入れに関する
感染管理上の注意
- (2) 施設見学に関する感染管理上の注意
- (3) 海外からの受け入れフローチャート
- (4) 海外からの受け入れに係る結核対策
※海外からの受け入れに関する事務手続き

を参照のこと

場所:岡山大学病院HP内

実習になるか見学になるかは
3ページフローチャート参照
(受け入れ身分の 実習・研修・見学と
感染対策上の 実習・見学は一致しません。)

岡大病院の見学には、感染対策が必要です

病院エリア(管理棟・臨床系医局も含む)に入る？

Yes

総見学時間は4時間以上？

Yes

No

No

感染対策上「実習」としての対応

- ①4種ウイルス疾患ワクチン接種歴
(1歳以上で2回以上の接種歴)
- ②B型肝炎抗体検査で陽性確認
と、1シリーズのワクチン接種歴
- ③結核検査(詳細版)
- ④インフルエンザワクチン接種
(10月1日から2月末滞在者のみ)

実習用の様式(Form1)を提出

感染対策上「見学」としての対応

見学者・実習者チェックシートにて
来院当日の体調を確認、無症状であれば見学可能

【立入できるエリア】

- ☆カンファレンスへの参加
- ☆講義への出席
- ☆研究室への出入り
- ☆通路(他所移動のため)等

注！【立入できないエリア】

- * 免疫抑制患者が入院する部署
(小児病棟、Bioclean room など)
- * 産科病棟
- * 原則ICU系
- * 患者が入室している、あるいは器械が
展開されている手術室の中

見学だけでも実習としての対応が必要

海外からの受入れ時の感染対策について

◆ 感染対策上「実習」としての対応

①4種小児ウイルス疾患ワクチン接種歴（麻疹、風疹、水痘、ムンプス）

Measles Rubella Varicella Mumps

→それぞれのウイルス疾患について、1歳以上で2回以上の接種歴がある場合、
ワクチン手帳（International Certificate of Vaccination or Prophylaxis等）の該当部のコピー等
（大学教員、同僚医師等による英訳必須）の資料を提出すること。

→接種歴が確認できない場合、不足分の追加接種を行い（2回接種の場合は、4週間以上間をあける）、
現地医師の署名が入った英語の接種証明書（Certificate of infection control）を提出すること。

②B型肝炎

→抗体検査の陽性結果を提出すること。
→3回1シリーズ（0，1，6か月）のワクチン接種歴がある場合、ワクチン手帳や領収書などのコピー
（大学教員、同僚医師等による英訳必須）を添付すること。

③結核（詳細版）

→1．結核感染歴・治療歴の聴取結果
→2．血液検査（IGRA：T-spotあるいはQFT〔クオンティフェロン〕）の結果
（実習開始日から1年以内のもの）

④インフルエンザワクチン接種（10/1～2/28滞在者のみ。便宜上10/1にしているが、接種時期は日本の
流行時期に合わせて可。

◆ 感染対策上「見学」としての対応

来院当日、感染症を疑う症状がないことを見学者・実習者チェックシート
で確認することができれば見学可能

診断書は日本語か英語であること。
検査結果やワクチンの証明のコピーにも
英訳を添付してください。